

■岩倉使節団年表

日付(明治)	発着地、備考	日本国内
4.11.12 (陰暦) (陽1871.12.23)	横浜港より出発、米国へ	11.13~22 全国の県を改廃(1使3府72県)
4.12.6	(米 国) サンフランシスコ着	
4.12.22	歓迎会、施設・機関見学	
4.12.26	サンフランシスコ発	
5.01.14	ソルトレーク着	
5.01.21	ソルトレーク発	
5.01.25	オマハ、シカゴを経て大陸横断	5.2.15 土地永代売買解禁
5.02.03	ワシントン着 (陽暦72.02.29)	2.28 兵部省を廃し、陸軍省、海軍省設置
5.02.12	大統領グラントと謁見	
5.03.24	条約改正交渉開始 大久保利通、伊藤博文ら日本へ 大久保、伊藤、日本着 この間、米国憲法などの翻訳、諸機関・施設の見学を続ける	
5.05.04	ワシントン発、北部地方の巡覧	
5.05.05	ニューヨーク着、ウエストポイントへ	4.09 戸長、副戸長をおく
5.05.08	ナイアガラ着、	5. 陸奥宗光、地租改正建議
5.05.12	前大統領フェルモアを招待	
5.05.17	ボストン着、音楽会へ 5.13~14	
5.06.17	大久保、伊藤、日本発	5.23~7.12 天皇、近畿、中国、九州へ巡幸
5.06.22	大久保、伊藤、ワシントン着	
5.06.24	条約改正交渉打ち切り	
5.06.25	ワシントン発	7.01 副島外務卿、マリア・ルース号の取調べを命じる
5.06.28	フィラデルフィア着、議事堂など見学	
5.07.03	ニューヨーク着、パイブル会社見学	
5.07.13	ボストン着、市中、諸機関・施設見学	
5.07.14	ボストン発 イギリス、リバプールへ	
5.07.16	(イギリス) コープ着、リバプール経由	7.04 壬申地券交付 8.03 学制頒布
5.08.01~02	ロンドン着	9.12 新橋・横浜間鉄道開通式
5.08.27~10.08	グランヴィル外相と会見、 ヴィクトリア女王は避重中で不在 バックingham宮殿、議会見学	9.14 琉球藩設置 9.23 三井組ハウス落成式
5.10.09	ロンドン発、スコットランドへ	10.02 人身売買禁止、 娼妓の年季奉公廃止
5.10.22	リバプール、マンチェスター、グラスゴー、エジンバラ、ハイランド地方、 ニューカッスル、シェフィールド、バーミンガムなど巡覧	
5.10.27	ロンドン着 (陽暦1872.11.9)	
5.11.03	岩倉・グランヴィル第一回会談 岩倉・グランヴィル第二回会談 木戸孝允ら、ダブリンに至り、アイルランドの議院、その他見学	11.15 神武天皇即位の年を紀元とし、1月29日を祝日とする(のち2月11日に改める)
5.11.05	ヴィクトリア女王と謁見 (陽12.05)	11.15 国立銀行条例公布
5.11.06	岩倉・グランヴィル第三回会談 意見対立で会談打ち切り	
5.11.16	ロンドン発 ドーヴァーからカレー(フランス)へ	
5.11.16	(フランス) パリ着 (陽暦1872.12.16)	11.28 徴兵詔書出る
5.11.26	大統領ティエールと謁見 (陽暦12.26)	明治6年1月1日 改暦
6.01.01 (陽暦)	改暦 (陰暦・明治5年12月3日を陽暦明治6年1月1日とする) 新年祝賀のためヴェルサイユ宮殿へ	1.10 徴兵令制定 2.07 仇討を禁止
6.02.17	パリ滞在中、宮殿、公園、諸機関・施設を見学。パリ・コミュニケーションのあとを見る パリ発	
6.02.17	(ベルギー) ブリュッセル着	2.24 キリシタン禁制の高札を撤去
6.02.18	国王レオポルド二世と謁見	
6.02.24	諸機関・施設などを見学 ブリュッセル発、ロッテルダム経由	
6.02.24	(オランダ) ハーグ着	2.24 キリスト教解禁 2.25 ウィーン万国博覧会(5.01~11.02)へ佐野常民ら出発 3.03 皇后、お歯黒をとり、眉墨をおとす 3.04 越前で一揆
6.02.25	国王ウィリアム三世と謁見	
6.03.07	ロッテルダム、ライデン、アムステルダムを巡覧。諸機関・施設を見学 ハーグ発、エッセン経由でドイツへ	
6.03.09	(ドイツ) ベルリン着	3.14 外国人との婚姻を許可
6.03.11	皇帝ウィルヘルム一世と謁見	3.20 天皇断髪 以後、散髪する者が増加
6.03.15	夜、帝宮にて会食、モルトゲラ150人 ビスマルクの招宴に臨む	
6.03.27	ベルリン滞在中、諸機関・施設を見学	
6.03.28	ポツダムへ	
6.03.28	大久保利通、帰国の途につく マルセーユ経由、横浜着 5.26 ベルリン発、ブスコフ経由でロシアへ	
6.03.30	(ロシア) セントペテルブルク着	3.31 ヘルメ国使節、マリア・ルース号事件の損害賠償を要求 (日本は拒否 6.14)
6.04.03	皇帝アレクサンドル二世と謁見	4.13 軍人犯罪律を改正
6.04.14	帝宮、諸機関・施設を見学	
6.04.16	セントペテルブルク発 木戸孝允、帰国の途につく (ベルリン、ウィーン、ローマ、ジュネーブ、マルセーユ経由、横浜着 7.23)	
6.04.18	(デンマーク) コペンハーゲン着、ハンブルク、 キール経由	4.19 後藤象二郎、大木喬任、江藤新平、参議就任
6.04.19	国王クリスチャン九世と謁見	
6.04.23	王宮、諸機関・施設を見学 コペンハーゲン発 マルメ経由でスウェーデンへ	
6.04.24	(スウェーデン) ストックホルム着	4月 上野公園、設置決定
6.04.25	国王オスカル二世と謁見	
6.04.29	諸機関・施設を見学 ストックホルム発、マルメ、コペンハーゲン、リューベック経由	
6.05.01	(ドイツ) ハンブルク着	5.02 太政官職制を改め、正院に権力集中 5.05 皇居火災 5.07 井上馨大蔵大輔ら財政改革意見を提出 5.14 井上、渋沢栄一免官
6.05.07	北部ドイツ地方巡覧。ハノーヴァー、フランクフルト、ミュンヘンなどを經由 ミュンヘン発 インスブルック、ヴェロナ経由	
6.05.09	(イタリア) フロレンス着	5.26 大久保利通 帰国
6.05.10	各地の古跡、諸機関・施設を見学	5.26 北条県(美作)で農民大一揆、各地で血税一揆あいつく。
6.05.11	フロレンス発	
6.05.13	ローマ着	
6.05.20~23	皇帝エマヌエレ二世と謁見	
6.05.26	ナポリ滞在中、 ローマ発	
6.05.27	フロレンス、ボローニャ経由	
6.06.02	ヴェニス着 「アルチーフ」の古文書館など見学 ヴェニス発	
6.06.03	(オーストリア) ウィーン着	6.09 大蔵省、予算を初公表
6.06.08	皇帝フランツ・ヨーゼフ一世と謁見	6.13 改定律例頒布
6.06.18	万国博覧会見学 ウィーン発 ザルツブルク、ミュンヘン経由	
6.06.19	(スイス) チューリッヒ着	6.16 福岡県で米価騰貴による農民一揆
6.06.20	チューリッヒ発	6.25 集議院廃止 6.25 マリア・ルース号事件で日本・ベルメ約定成立
6.06.20	バレン着	6.29 特命全權大使副島種臣、清国皇帝に謁見
6.06.21	大統領セシールと謁見	
6.06.23~	ルツェルンなど湖水周辺を回覧	
6.06.29	バレン発、ローザンヌ経由	
6.06.29	ジュネーブ着	
6.07.15	市内の諸機関・施設を見学 日本より至急帰国命令の電信着く スペイン、ポルトガル訪問の中止 ジュネーブ発	
6.07.15	(フランス) リヨン着	7.23 木戸孝允 帰国
6.07.17	生糸改会所など見学	7.26 地租改正条例など公布
6.07.18	リヨン発	8.03 参議西郷隆盛、征韓意見書を閣議に提出
6.07.20	マルセーユ着 市内、海岸など見学	8.17 西郷の遺韓使節、内定
6.07.22~	マルセーユ発 郵船「アウア」号で帰国の途へ ナポリ着、メッシーナ海峡経由 地中海、ボートサイド、スエズ運河、アデン、アラビア海、セイロン島、ベンガル湾 、マラッカ海峡、シンガポール(コレラ流行のため上陸せず)、サイゴン、香港、上海などを經由 9.05 郵船「コルテンエン」号で上海から日本へ	9.01 明六社第一回の集会 9.05 三池炭山を官営とする
6.09.06~07	(日本) 長崎着	9月 開化物の出版あいつく
6.09.09~11	神戸着	
6.09.13	横浜着	
6.09.14	岩倉使節団、岩倉景現、正院において復命	